

父もしくは母を扶養することの宣誓書

愛知県立 高等学校長 殿

【記入日】

年 月 日

生徒が在学する 学校の名称		
生徒の氏名	(カナ)	
生徒の生年月日 (西暦)	年	月 日
離職 (事業を廃止、役員を辞任※以下「離職等」と言う。) した保護者等の氏名	(カナ)	
扶養※1される者の氏名	(カナ)	保護者等との続柄
父もしくは母を扶養することとなった日 (離職等した日) (西暦)	年	月 日
父もしくは母を扶養することとなった経緯や状況について ※□にレ印を付した上で、詳細欄に詳しい経緯や状況を記入してください。	<input type="checkbox"/> 父 (母) が死亡し、母 (父) を扶養する必要があるため、自身が扶養することとなった <input type="checkbox"/> 父 (母) の負傷、疾病により、90日以上療養が必要となったため、自身が扶養することとなった <input type="checkbox"/> その他の理由	
	(詳細)	

※1「扶養」とは、税法上や社会保険上の「扶養」ではなく、助け養うことを意味する。(生活面の面倒をみることや身の回りの世話をすることなど)

以下の事項を必ず確認の上、全ての□にレ印及び必要事項を記入してください。

- この宣誓書の記載内容は、事実に相違ありません。
- 父 (母) の (死亡・負傷、疾病) ※2により母 (父) を扶養することとなったことを宣誓します。
- ※2「死亡」、「負傷、疾病」のどちらかに○を付けてください。
- 負傷、疾病により父 (母) を扶養していて、離職等した日から90日間のうちに再就職するなど就労をした場合は家計急変事由に該当しないことを承知しています。
- また、当該期間内に再就職するなど就労をした場合は速やかに申し出ます。
- この宣誓書の他、必要な事由証明書類を添付します。
- この宣誓書に虚偽の記載をして提出し、奨学給付金の支給をさせた場合は、不正利得の徴収や3年以下の懲役又は100万円以下の罰金等に処されることがあることを承知しています。